

2026 年 9 月 9 日

国内の CAR-T 細胞療法の発展に向けて 帝人・帝人リジェネット・信州大学が共同研究契約を締結

帝人株式会社
帝人リジェネット株式会社
信州大学医学部附属病院

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）、帝人リジェネット株式会社（本社：東京都千代田区、社長：細山 剛、以下「帝人リジェネット」）および信州大学医学部附属病院（所在地：長野県松本市、病院長：関島 良樹、以下「信大病院」）は、このたび、CAR-T 細胞療法(*)をはじめとする細胞・遺伝子治療製品の製造技術に関する共同研究契約を締結しました。

(*) キメラ抗原受容体導入 T 細胞療法：遺伝子改変技術を用いて、患者から採取した T 細胞を、がん細胞に対して選択的に攻撃できるよう体外で加工した後、患者へ戻す治療法。

CAR-T 細胞療法をはじめとする細胞・遺伝子治療は、がんや難治性疾患に対する新たな治療法として期待されており、今後さらなる普及が見込まれています。その一方で、国内では製造を担う専門人材や製造拠点の不足が課題となっており、安定的な供給体制の構築に向けた取り組みが求められています。

本共同研究では信大病院が有する CAR-T 細胞療法の研究開発および臨床応用に関する知見と、帝人リジェネットが再生医療等製品の製造受託事業（CDMO）を通じて培ってきた製造・品質管理ノウハウを融合し、細胞・遺伝子治療製造技術の高度化と製造基盤の強化を目指します。また、信大病院内の細胞プロセッシングセンター（CPC）を活用し、将来的な製造の自動化・効率化に向けた検討を進めるとともに、品質試験技術や品質管理手法に関する実践的な知見の蓄積に取り組めます。

今後、帝人、帝人リジェネットおよび信大病院は、本共同研究を通じて得られた成果を活用し、国内における細胞・遺伝子治療の発展と、必要とする患者さんがより治療を受けやすい環境の実現に貢献していきます。

以 上

【 報道関係のお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055
信州大学医学部附属病院 総務課 広報担当 E-mail: byouin_kouhou@gm.shinshu-u.ac.jp